

海岸まつり 総実食数20%増 「4回目」で知名度浸透」

日豊海岸岩ガキまつり 1/24 4〜8月 佐伯―日向の18店が参加

2019日豊海岸岩ガキまつりキャンペーンの実績報告と公開抽選会が23日、日向市役所で行われた。同まつりは、岩ガキによる観光振興を
と県北2市1町をつくる「ひむか日豊海岸観光推進協議会（山本達雄会
長）と佐伯市観光協会（橋本正恵会長）が共催。4〜8月にPRに取り
組んでいる。報告会には、日向市をはじめ延岡市、門川町、大分県佐伯
市の各観光協会関係者らが出席した。

延岡観光協会の太田尾一（續報告によると、今年の
雅史事務局参与による実一 参加店舗数は、佐伯市5
（同7）▽門川町1（同



公開抽選後、岩ガキまつりをPRする各観光協会の会長ら

1）▽日向市6（同6）
の計18店舗。

実食数は、佐伯市35
02食（同32265）▽
延岡市6942食（同6
798）▽門川町296
7食（同200）▽日向
市7437食（同713
5）。総実食数は、昨年の
1万7398食を345
0食上回る2万848食
で過去最多となった。

まつりのキャッチフレ
ーズは「日豊海岸岩ガキ
前線北上中！」と銘打っ
て、日向市と門川町が4
月1日から、延岡市は5
月から、佐伯市が6月か
らスタートさせ、いずれ
も8月31日まで実施し
た。

アンケートの集計結果
をみると、回答者は21都

府県におよび、最多は宮
崎県内の251人で、次
いで大分県の89人、福岡
県39人、熊本県14人、遠
くは東京都や神奈川県な
ど関東、愛知県や大阪府、
鳥取県などからの回答者
もいた。年齢構成は60代
が最も多く、50代、40代
と続き、40〜60代の年齢
層で全体の6割を超えた
ことが分かった。

実食数が約20%増と
なったことについて、2
016年のイベント開始
から4回目となり、日豊
海岸の岩ガキの知名度が
よつやく浸透してきたこ
と、昨年のような天候不
良の影響が少なかったた
め、とみている。

まつりキャンペーン
は、豊後水道、日豊海岸

で育った岩ガキに限り、
メニューも各店舗オリジ
ナルを提供することで展
開してきた。こうした姿
勢でのPRでの実績に、
アンケート集計の総評
で、岩ガキが観光商品と
して十分に力を秘めてい
ることを実感。今後も「牡
蠣（かき）―夏季―東九
州地域」のイメージを広
くPRし集客に努めたい
とした。

抽選会では、松葉会長、
延岡観光協会の谷平興二
会長、門川町観光協会の
大森有二会長、佐伯市観
光協会の橋本会長らが抽
選。各地の名産品などを
詰め合わせた1〜4等ま
での賞品が、20人に当
たった。佐伯市観光協会
からの3万円相当の1等
1本は、東京都の45歳の

女性に贈られる。
会の冒頭、主催者を代
表してあいさつした日向
市観光協会の松葉藤吉会
長が、「年々盛んになりあ
りがたい。四つの観光協
会が融合したまつりで、
日豊海岸がブランドと
なってまつりが育ってい
くことを願う」などと述
べた。また、会の最後に
あいさつしたひむか日豊
海岸観光推進協議会の山
本会長は、関係団体、機
関への協力に謝意を表し
「当初の目標2万食を4
年かかって達成できた。
来年は5年目になるが、
ますます魅力的なものに
なるよう企画を出してい
きながら、一つのブラン
ドとして展開していきたい」と締めくくった。

のぼりざるフェスタ

26、27日

10/24

県北最大の観光物産展

特産品やイベント満載

延岡市役所前中町
シンボルロード

県北地区最大の観光物産展「のぼりざるフェスタ・Together 2019」が26、27日に延岡市役所前の中町シンボルロード特設会場で開催される。26日は午前11時から午後5時、27日は午前10時から午後5時まで。県北一円と大分県佐伯市の76業者による事業紹介、特産品や飲食物販売のほか、家族で楽しめるイベントが多数行われる。主催は、同実行委員会（西村通洋実行委員長）。

今年のテーマは「志！和最初の年、新しい時代へ」。

〜皆でつくろう、新しい流れに沿って進化への思いを「新」の文字に込め、中でも、今回は特に「食」

に注目。新企画として、県北9市町村から同実行委が厳選した品が並ぶ「ごはんのおとも大集合」が実施される。



「のぼりざるフェスタ・Together 2019」のポスター

イベントはこのほか、のぼり猿に扮（ふん）した姿を写真に撮って来年のカレンダーを作る「わんぱくのぼりざる」も実施される。

「ごはんのおとも大集合」が実施される。イベントはこのほか、のぼり猿に扮（ふん）した姿を写真に撮って来年のカレンダーを作る「わんぱくのぼりざる」も実施される。

んぱくのぼりざる」、パークラフトや輪投げなどの体験、のぼるくんスケッチ大会の作品展展示

「ナー」のぼる〜むフー クシヨップ、アユのつかみ取り（いずれも両日）、赤ちゃんハイハイレース（27日のみ）といった恒例企画も。このうちアユのつかみ取りは今回初めて、子ども対象の「初心者確実コース」とともに、大人対象の「玄人チャレンジコース」も設けられ、より家族で楽

しめる内容となっている。同実行委員会は「常連の方も新規の方も、老若男女みんなが楽しめるイベントになっています」と多くの来場を呼び掛けている。問い合わせは延岡市観光戦略課内の同実行委事務局（☎延岡34・78003）。